

三鷹市環境基本計画 2022（第2次改定） 数値目標と進捗状況（令和4年度実績）

1 環境目標について

4つの環境目標における16件の達成指標を、目標値（令和5年度）と比較して評価している。

	目標値を達成している	7件
	目標値の達成に向かっている	3件
	目標値の達成に向けて努力を要する	3件
—	今年度調査をしていない項目	3件

環境目標 1

■健康で安全に生活ができるための達成指標と数値目標

達成指標項目	計画策定時 (平成22年度)	前年度	令和4年度	目標値 (令和5年度)	目標値の 達成状況	備考
光化学オキシダント濃度 (1時間値の最高値)	0.160ppm	0.142ppm	0.135ppm	0.060ppm (環境基準の達成)		計画策定以降、環境基準値越えの状況が続いている。
地下水の環境基準超井戸数	19	12/30	10/30	減少		
微小粒子状物質濃度 (1年平均値) ※	— (データなし)	9.6 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (令和2年度実績値)	8.8 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (令和3年度実績値)	15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (環境基準の達成)		
大気中アスベスト濃度	不検出	不検出	不検出	不検出		

※ 微小粒子状物質(PM2.5)については、環境基準の達成状況評価に必要な常時測定を市独自では行っていないが、東京都の自動車排出ガス測定局(下連雀7丁目)の測定データを活用して監視を行っている。
令和4年度の測定値が公表前であるため、前年度及び令和4年度の数値は、それぞれ令和2年度及び令和3年度の測定値を記載している。

環境目標 2

■歴史・文化資源を活かした良好な風景・景観を形成するための達成指標と数値目標

達成指標項目	計画策定時 (平成22年度)	前年度	令和4年度	目標値 (令和5年度)	目標値の 達成状況	備考
市域面積に対する 公園緑地等の割合	4.60%	5.01%	5.02%	5.48%		
保存樹林・保存樹木	樹林:10箇所 樹木:704本	樹林:9箇所 樹木:770本	樹林:7箇所 樹木:744本	現状維持に努める		

環境目標3

■みどりを守り多様な生き物と共生するための達成指標と数値目標

達成指標項目	計画策定時 (平成22年度)	前年度	令和4年度	目標値 (令和5年度)	目標値の 達成状況	備考
農地面積	171ha	143ha	142ha	140ha		
緑被率	33.46% (平成21年度調査)	-※ 〔参考:H30年度 32.53%〕	-※	33.00%	-※	
生垣化率	20.5% (平成21年度調査)	-※ 〔参考:H30年度 21.9%〕	-※	22.0%	-※	
屋上緑化	337箇所 24,843㎡ (平成21年度調査)	-※ 〔参考:H30年度 303箇所 32,402㎡〕	-※	336箇所 36,000㎡	-※	
雨水浸透ますの設置数	51,537基	77,958基	80,153基	75,500基		

※5年ごとの調査であり令和元年度から令和4年度の調査は行っていないため「-」表記とした。

参考として直近の平成30年度の調査結果を記載。

環境目標4

■循環型社会を形成するための達成指標と数値目標

達成指標項目	計画策定時	前年度	令和4年度	目標値 (令和5年度)	目標値の 達成状況	備考
一人一日あたりのごみ総排出量	743g (平成22年度)	698g	677g	688g		
最終処分場に埋め立てるごみの量	0㎡ (平成22年度)	0㎡	0㎡	0㎡		
三鷹市における温室効果ガス総排出量 第4期計画 令和元年度～令和12年度	685,000t-CO ₂ (平成25年度)	636,000t-CO ₂ (令和元年度実績値)※1	651,000t-CO ₂ (令和2年度実績値)※1	591,000t-CO ₂		・民生(家庭)部門における排出量が高い値であったが、この要因は、コロナ禍による在宅時間の増加に伴う家庭内エネルギー需要の増加であると考えられる。 ・電気の排出係数が、東日本大震災以降、高い値を推移している。
排出係数 ※2	0.522	0.448	0.434	-	-	
三鷹市公共施設の温室効果ガス総排出量 第4期計画 令和元年度～令和12年度	15,414t-CO ₂ (平成25年度)	11,660t-CO ₂ (令和2年度実績値)	12,887t-CO ₂ (令和3年度実績値)	12,747t-CO ₂		
排出係数 ※3	0.406	0.435	0.450	-	-	
新エネルギー導入助成による最大出力の累積値 ※4	917kW (平成22年度)	5,028kW	5,297kW	5,717kW		

※1 「オール東京標準化手法」では、温室効果ガスの算定根拠とする諸統計データの入手・確定に3か年ほどの期間を要する。

※2 「オール東京標準化手法」による排出係数

※3 平成25年度は東京電力の調整後排出係数。令和元年度実績値以降は各施設の電力に基づいて算出した排出係数

※4 市の助成制度を利用して設置された太陽光発電設備及び燃料電池コージェネレーションによる最大出力の累計値
エコタウン開発奨励制度により設置された太陽光発電設備分も含む。

●「市が優先的に取り組む環境課題」と環境貢献の取り組みの成果

三鷹市では、毎年、地球規模の課題及び社会情勢等を鑑みて市長が「市が優先的に取り組む環境課題」を決定します。（令和4年度は下表の3つの課題）

各課の職員が、この環境課題を解決するために環境貢献の目標を設定し、事務・事業に取り組んでいます。取り組みにあたっては、SDGs への繋がりなどを認識し、将来的なゴール達成への貢献を目指しています。

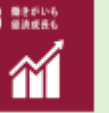
★市が優先的に取り組む環境課題★

①地球温暖化をはじめとする気候変動への対応・・・・・・・・・・ 46 件

②資源の保全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33 件

③コロナ禍における新しい生活様式への対応と環境への配慮・・ 15 件

令和4年度「市が優先的に取り組む環境課題」	課の目標 （主な取り組み）	課名	関連する SDGs のゴール （先頭は最も関連のあるゴール）	実績
①地球温暖化をはじめとする気候変動への対応 （46 件）	公共施設の資源エネルギーの有効利用	契約管理課	  	・太陽光発電設備（本庁舎西側外壁部）の令和4年度発電量は 1, 999. 9kWh。中庭芝生の自動灌水装置に利用するとともに、余剰電力については、市民センター内へ供給した。 ・低公害車（プラグインハイブリット車）1 台導入
	気候変動に対する適応策の推進 （都市型水害対策の推進）	防災課	   	・出前講座においては令和4年度は 34 回と前年度を上回る回数を実施し、風水害の新たな警戒レベルの周知に努めた。 ・令和4年 10 月に大沢地区をメイン会場とした総合防災訓練を実施した。気象予報士を招いた講演や水圧ドア体験などの訓練内容により風水害時に対する備えの意識を高めることができた。
	新エネルギー・省エネルギー設備設置助成金の実施	環境政策課	   	・新エネルギー・省エネルギー設備設置助成金 8, 998, 000 円交付（残額 2, 000 円） ・申請内訳：太陽光発電 54 件、蓄電池 56 件、エコキュート 35 件、エネファーム 54 件 ・令和4年度年間の発電量は、5, 447, 483kWh、二酸化炭素の年間削減量は、約 2, 402 キログラム
	みたか環境活動推進会議の運営 （協働による環境啓発事業の実施、人財の育成）	環境政策課	      	・「みんなで考えよう みたかの SDGs」をテーマとし、年間計4回の環境イベントを実施した。第3回はふじみまつりでの環境イベントを開催し、環境にやさしい燃料電池自動車 MIRAI による電力供給デモンストレーション、みつろうラップ作り、地球温暖化クイズ、自転車発電などを通じて、環境について楽しく学べるイベントを実施した。 ・年間計4回ニュースレター「みたか環境ひろば」を発行し、SDGs やプラスチック問題等の話題を提供することができた。
	クリーンプラザふじみでごみの焼却時に発生する熱を利用したエネルギー回収の推進	ごみ対策課 芸術文化課	      	・三鷹中央防災公園・元気創造プラザにおいて、ふじみ衛生組合の「クリーンプラザふじみ」からごみ処理過程で生じる低温水による熱源等を計画的に需給し、環境への配慮（温室効果ガスの排出抑制や環境負荷の低減）とランニングコストの低減を図った。 ・令和4年度年間売電量：リサイクルセンター947MWh、防災公園 3, 101MWh、電力事業者 26, 742MWh
	公共交通環境の整備	都市交通課	  	「三鷹市コミュニティバス将来的なあり方方針」に基づき、井の頭地区、三鷹台地区及び大沢地区において、グリーンスローモビリティやAI デマンド交通（予約型乗合交通）の実証運行を行うとともに、「三鷹市コミュニティ交通実証運行評価・検証検討会」を立ち上げ、実証運行に関する評価・検証を行った。

令和４年度「市が優先的に取り組む環境課題」	課の目標 (主な取り組み)	課名	関連する SDGs のゴール (先頭は最も関連のあるゴール)	実績
②資源の保全 (33 件)	紙使用量の削減	企画経営課 財政課 政策法務課 土地対策課 資産税課 地域福祉課 障がい者支援課 介護保険課 子ども育成課 子育て支援課 子ども発達支援課 まちづくり推進課 議会事務局 指導課 選挙管理委員会事務局 監査事務局	     	(主な実績) ・市刊行物の電子書籍化を行った。 ・予算書等の刊行物の作成部数や配布先を精査し、電子決裁を継続して活用した。 ・印刷抑制、裏紙使用及び両面・分割（2 in 1 等）印刷等を徹底した。 ・メールで資料を送付することにより、紙の使用量を削減する意識啓発を行うことができた。 ・介護保険料支払いのスマートフォン決裁の追加等もペーパーレス化に繋がった。 ・定例校長会等の会議体で使用する資料等を電子データ化し、ペーパーレス会議として実施したことに伴い、準備時間の短縮や会議の効率化が図られた。
	電子申告、電子申請等の普及	市民税課 スポーツ推進課	     	・令和４年度法人市民税電子申告割合 85.3%（前年度対比 0.6%増加） ・「タッタカくん！のウォーク&ラン」アプリの運用により、アプリ上でイベントを開催した。 ・ふれあい乗馬体験等事業のアンケート回収においては新たに LoGo フォームを活用する等の業務の効率化を図った。
	市民と協働で行うごみ減量のための啓発活動	ごみ対策課	    	・三鷹駅南口でゴミゼロ・不法投棄防止キャンペーンを実施した。その他、イベントに出店し啓発品の配布や販売を行った。 ・三鷹駅南口でエコアクションキャンペーンを実施した。毎年テーマを設けて啓発を行うが、令和４年度は食品ロスをテーマとして設定し実施した。その他、イベントに出店し啓発品の配布や販売を行った。
	三鷹らしい景観の保全・創出	都市計画課	  	「三鷹市公共施設景観づくりの手引き」に基づき、市の景観を構成する重要な要素である公共施設の整備を通じて、三鷹らしい総合的な景観づくりの先導的な役割を担うようにまちづくりを推進した。景観アドバイザー制度を活用し、形態意匠及び地域に適した樹木の選択など周辺の住環境やまち並みと調和するように誘導した。
	生物多様性の保全と利用の取り組み	緑と公園課	  	北野公園や森の児童遊園においてキンラン・ギンラン等の希少種の保全活動を行うとともに、「どんぐりプロジェクト」への協力等、生物多様性につながる活動を広げた。
	学校施設への省エネルギー設備の導入	総務課	    	市立小中学校 12 校の特別教室の既存空調設備について低環境負荷タイプの空調設備に更新した。

令和4年度「市が優先的に取り組む環境課題」	課の目標 (主な取り組み)	課名	関連する SDGs のゴール (先頭は最も関連のあるゴール)	実績
③コロナ禍における新しい生活様式への対応と環境への配慮 (15件)	ICT活用の推進 (LoGo チャット、Web 会議、スマートホン決済納付の積極的な取り組みの推進)	情報推進課 市長室 納税課 教育政策推進室	         	・年間を通して、ビジネスチャットの利用が増加したことで、感染症リスクの低減、紙資料の消費、省資源化・業務効率化、コストの削減を図ることができた。チャット内でのノートやアクションを活用し、外部作業で必要な資料確認等をその場ですぐできるようにした。また、単純作業に関しては、To Do リストを係で共有することで、業務の進捗状況をチャット上で確認することができた。 ・非対面での納付の促進や業務のデジタル化に取り組んだ。例えばスマホ決済や SMS による納付勧奨、調査業務のオンライン化である。これらの取り組みは、収納率向上を図りながら、納付書や再生紙の使用量を削減した。
	電子媒体を活用した情報発信 (既存の広報媒体に加え、YouTube「三鷹市公式動画チャンネル」の配信内容を拡充)	広報メディア課	    	・市長メッセージやその他動画配信など、予定通りに配信できた。 ・広報掲載事業について、実施日近くに Twitter で再度案内したり、市関連団体の Twitter をリツイートするなど、様々な方法で鮮度の高い情報発信を行った。
	・コンビニ交付の利用件数増加による省資源化の推進 ・キャッシュレス決済の利用促進による感染防止	市民課	    	・令和4年度コンビニ交付件数 43,025 枚 ・令和4年度キャッシュレス決済利用率年間平均 20.2% (目標値 25%)
	お悔やみ窓口、広告付きモニター付き窓口案内システムの導入等による円滑な手続きと窓口混雑の短縮	保険課	   	年間を通じて、アクリルボードの設置や定時の消毒など新型コロナウイルス感染症対策を行い、感染拡大防止に努め、市民生活に影響が出ないよう保険業務を遂行した。広告付きモニター付き窓口案内システムの導入等により円滑な手続きと窓口混雑を緩和し、市民の感染リスクの低減を図った。
	公共施設における感染症対策の徹底及び快適な市民活動の環境整備	コミュニティ創生課	    	・公共施設でのクラスター発生0件 ・3年振りとなるコミュニティ・センターでのプール開放事業を実施した。 ・コミュニティ・センター体育館5箇所(大沢・牟礼・井口・新川中原・連雀)に空調設備を整備した。
	芸術文化施設やスポーツ施設における新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を徹底・市民の健康と安全の確保	芸術文化課 スポーツ推進課	     	・(公財)三鷹市スポーツと文化財団において、施設ごとに策定した「使用ガイドライン」に基づいて、来場者間の距離確保、マスク着用、体温計測、手洗い・手指消毒の励行、飲食禁止、換気の実施など、徹底した新型コロナウイルス感染防止対策を講じた。 ・新型コロナウイルスの感染拡大防止対策を徹底したうえで、スポーツフェスティバル、三鷹市民駅伝大会等のイベントを実施することができた。事業実施に伴う新型コロナウイルス感染の報告はない。

●SDGs ゴール解説

【各ゴールの内容（環境面のゴール）】

飢餓をゼロに	安全な水とトイレを世界中に	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	住み続けられるまちづくりを	つくる責任 つかう責任
				
飢餓をなくし、生きていくために必要な食料を安定して手に入れることのできる権利を保障し、栄養状態を良くして、持続可能な農業を進める	水と衛生的な環境を管理して、誰もが水と衛生的な環境を得られるようにする	安価で、安心して発電でき、持続可能で近代的なエネルギーをすべての人が使えるようにする	まちや人々が住んでいるところを、だれもが受け入れられ、安全で、災害に強く、持続可能な場所にす	持続可能な方法で生産し、消費する
<u>【キーワード】</u> ・食品ロス削減 ・飢餓の撲滅 ・農業の推進	<u>【キーワード】</u> ・水資源の保全 ・節水	<u>【キーワード】</u> ・再生可能エネルギーの活用（太陽光発電等） ・節電	<u>【キーワード】</u> ・まちづくり ・安全安心 ・快適な公共交通	<u>【キーワード】</u> ・3R（リサイクル等） ・環境に配慮した物品の購入 ・省資源（紙など）

【各ゴールの内容（環境面のゴール）】

気候変動に 具体的な対策を	海の豊かさを守ろう	陸の豊かさも守ろう	パートナーシップで目標を達成しよう
			
気候変動とその影響を軽減するために、すぐに行動を起こす	海と海洋資源を守り、持続可能な利用を促進する	陸の生態系を保護・回復し、持続可能な利用を行う。森林の持続可能な管理をし、砂漠化、生物多様性の喪失などを止める	目標達成のために必要な行動を強化し、持続可能な発展に向けて世界の国々が協力する
<u>【キーワード】</u> ・省エネ ・適応策（熱中症予防、災害対策） ・節電 ・CO2削減	<u>【キーワード】</u> ・プラスチックの削減、適正処理 ・良好な水質 ・魚類資源	<u>【キーワード】</u> ・生態系の保護 ・紙使用量の削減 ・緑化推進、樹木の保全	<u>【キーワード】</u> ・色々な市民、団体等との連携、協働

【各ゴールの内容（その他のゴール）】				
貧困をなくそう	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう	働きがいも経済成長も
				
世界中のあらゆる貧困を終わらせる	何歳であっても、健康で安心して満足に暮らせるようにする	誰もが平等に質の高い教育を受けられるようにし、誰もが生涯にわたってあらゆる機会に学習できるようにする	ジェンダーが平等であるようにし、すべての女性及び女兒に力を与える	自然資源が守られ、みんなが参加できる経済成長を進め、すべての人が働きがいのある人間らしい仕事をできるようにする
<u>【キーワード】</u> ・ <u>社会保障</u> ・ <u>融資、助成</u> ・ <u>自立サポート</u>	<u>【キーワード】</u> ・ <u>健康、福祉</u> ・ <u>病気やケガの抑制</u> ・ <u>大気汚染の防止</u>	<u>【キーワード】</u> ・ <u>教育機会</u> ・ <u>啓発</u>	<u>【キーワード】</u> ・ <u>ジェンダー平等</u>	<u>【キーワード】</u> ・ <u>業務効率化</u> ・ <u>ライフワークバランスの推進</u> ・ <u>就労支援</u> ・ <u>経済振興</u>

【各ゴールの内容（その他のゴール）】		
産業と技術革新の基盤をつくろう	人や国の不平等をなくそう	平和と公正をすべての人に
		
災害に強いインフラをつくり、みんなが参加できる持続可能な経済成長を進め、新しい技術を生み出しやすくする	国と国の間にある不平等や、国の中での不平等を減らす	持続可能な開発のため、平和でみんなが参加できる社会をつくり、すべての人が司法を利用でき、地域・国・経済のどのレベルにおいても、きちんと実行され、必要な説明がなされ、誰もが対象となる制度をつくる
<u>【キーワード】</u> ・ <u>技術発展</u> ・ <u>研究開発</u> ・ <u>ICT 技術の活用</u> ・ <u>地域の技術力向上</u>	<u>【キーワード】</u> ・ <u>教育</u> ・ <u>社会保障</u> ・ <u>正しい知識（人権）</u> ・ <u>ハラスメント防止</u> ・ <u>社内制度の整備</u>	<u>【キーワード】</u> ・ <u>平和</u> ・ <u>充実した制度の整備と理解</u> ・ <u>サイバーセキュリティ</u> ・ <u>リスク管理</u>